

平成 30 年度 第 1 回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

平成 30 年 5 月 17 日（木）18:30～20:00

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者	10 名…岩堀、石塚、川島、佐久間、多賀名、妻沼、藤野、三澤、吉田、小澤
欠席者	なし
事務局	2 名…市民生活課 櫻井、里吉
指定管理者	2 名…NPO 法人 YMCA コミュニティサポート 高橋、沼崎
傍聴者	0 名

- 配布資料
- 1-1 市民活動サポートセンター例月実績報告
 - 1-2 利用者の声まとめ
 - 2 NPO 法人 YMCA コミュニティサポート 2017 年度事業報告
 - 3 NPO 法人 YMCA コミュニティサポート 2018 年度事業方針計画
 - 4 夏のボランティア・市民活動体験 2018 企画書・募集要項
 - 5-1 サポートセンターデータベース登録全団体リスト
 - 5-2 新規異動団体リスト
 - 5-3 登録団体推移
 - 6 平成 30 年度運営懇話会日程（案）
 - 7 平成 30 年度市民協働推進補助金交付団体・市民協働モデル事業採択企画一覧
 - ・ 構成員名簿
 - ・ 市民協働推進補助金・市民協働モデル事業平成 29 年度活動報告会チラシ

1 報告事項

1-（1）利用状況、利用者の声について

指定管理者及び市民生活課から、資料 1-1 及び 1-2 に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・平成 29 年度の利用者数・利用団体数の実績はなんとか前年度を上回った。
- ・ネット印刷への移行により、コピー機・印刷機の利用者が減ることから、全体の利用者数についても減ることが懸念されたが年度を通しての実績は何とか上回ることができた。
- ・利用団体数についても前年度を上回ることができた。
- ・30 年度については 4 月時点で前年度より 300 人以上多く、5 月も本日時点で前年度より 300 人以上増となっており、ゴールデンウィークが明けても利用者が継続している状況である。
- ・コピー機や印刷機の利用自体は前年度比 90 数パーセント落ちているが、これは近年の傾向として致し方ないところである。
- ・活動紹介コーナーの稼働率が 92% であり、かなり利用されている。
- ・利用者の声については 2～4 月は件数が少なかった。丁合機については機械の仕様上中断等のトラブルは発生するが、その都度スタッフが丁寧に対応するようにしている

(市民生活課：久里浜・追浜について)

- ・利用者数及び利用団体数については、対前年度の比率で見ると97%から107%と多少幅はあるが、実績数で見ると概ね横ばいである。
- ・平成29年度のコピー機・印刷機の利用状況については、コピー機については久里浜・追浜いずれも4月の利用が多かったため、前年度比で増となっている。印刷機については久里浜・追浜ともに減となっている。
- ・平成30年度については4月の実績のみであるが、久里浜・追浜ともに利用者数等前年同月比でほぼ減となっている。

1-(2)平成29年度実施事業報告

指定管理者から資料2「YMCA コミュニティサポート 2017年度事業報告」に沿って、報告した。なお、参考としてNPO法人YMCA コミュニティサポートの法人独自事業に関する報告もあった。

(指定管理者)

- ・特別掲示として「ピンクシャツデー」を実施した。「ピンクシャツデー」はカナダで始まったいじめ撲滅の運動の一環である。来年度はこの運動を大きく広げていけるようにご協力いただきたい。
- ・同じく特別掲示として「3.11を忘れない」を実施した。東日本大震災については、10団体が今も継続支援をしており、現在までの活動状況などをパネルにして展示した。
- ・相談業務については、専門的な相談やネットワークを作りたい等高度な内容に対応するため、相談体制を整え、またこれまで作ってきたネットワークを活用しできるだけ対応できるようにしてきた。
- ・具体的にはフードバンクに関するもの、こども食堂の立ち上げに関するもの、こどもの貧困支援に関する相談等が寄せられた。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・ピンクシャツデーを地元で展開することはできないか
- 子育てのネットワークづくりのきっかけとしても展開できるように考えたい(指定管理者)

1-(3)平成30年度年間事業計画

指定管理者から資料3「YMCA コミュニティサポート 2018年度事業方針計画」「市民活動サポートセンター2017年度事業計画書」に沿って、報告した。

(指定管理者)

- ・市民活動サポートセンターへ入りやすいきっかけづくりとして「にぎわいづくり大作戦」と銘を打った活動を展開している。具体的には、施設外に向けた掲示を増やし施設の活動内容をわかるように発信すること、また、センター内のレイアウトを見直し、稼働率の高い活動紹介コーナーを増設し、通常の紹介コーナーの終了後増設箇所への展示をできるようにしていくことを検討し、さらにはデッドスペースの活用方法についても検討している。

また、新たな層の開拓として、子供向けのプログラミング教室を市民団体と連携して行うことにより、家族層の取り入れに向けた施策も展開している。

1-(4)夏の市民活動・ボランティア体験 2018 について

指定管理者から資料 4 をもとに企画を説明した。

(指定管理者)

- ・現在、参加団体を募集しているが、やや応募団体数が伸び悩んでいる。昨年度は 40 のイベントの応募があるため、団体によっては応募を忘れていたり期限間際に応募してくる団体もあるので、声かけ等は随時行っていく。
- ・ポスターコンクールについても好評であり、現在の応募は 10 数団体であるが、年々ポスターの完成度も高くなっている。上記の応募の声掛けと併せて声掛けを行っていききたい。

2 議題

2-(1) サポートセンターデータベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から資料 5-2 に沿って 4 月以降の新規登録・異動団体について説明し、以下の意見があった後原案どおり承認された。(今回は年度初めということで、資料 5-1 全登録団体一覧及び資料 5-3 登録団体推移も添付)。

(指定管理者)

- ・公益団体に該当するか否かの判断は指定管理者の方で行っているが、ここでは前回の懇話会以降の新規登録団体について公益性の判断の是非について議題として提示するもの。
- ・記載の登録団体のうち、1 団体は書類の提出が滞っているため現在保留状態となっている。
- ・団体数の推移については、10 周年の段階で 1 度見直しを行った関係で変動している。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・変更団体のうち 1 団体について、変更前の団体名と変更後の団体名で名称が変わりがないように思われるが。
→当該団体については、当初は法人格を取得していなかったが、法人格を取得したことにより変更後の名称となっている。(指定管理者)

【議題外の質疑】

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・にぎわいづくり大作戦の一環として、近隣のショッピングセンターに来る人をサポセンに呼び込むことはできないのか。現在市民活動サポートセンターにはどんな団体が登録されていて、どんな活動を行っているか周知するようにできないか。
→現状ではのたろんフェアの PR 展示、のたろんフェアのイベントやチャイルドファクトリー等イベント等のタイミングで年 3 回は協力いただいている。団体の PR の場となっており、それをきっかけにサポートセンターに足を運んでもらえればわかってもらえると思うが、その場でサポートセンター自体の PR は出来ていない状況である。(指定管理者)
- ・のたろん通信等の広報誌はどのようなところに配架しているか。
→市内の公共施設に加え駅や病院等にも協力を依頼し配架している。(指定管理者)

- ・サポートセンターの利用案内用のリーフレットは市内の他の施設、例えばヴェルクよこすかや総合福祉会館などには置いてあるのか。
- ヴェルクや総合福祉会館のリーフレットはサポートセンターに置いてあるが、現在こちらから配架を依頼してはいるが、検討する。なお、現在リーフレットのリニューアルも検討しているのでタイミングについては検討したい。(指定管理者)
- 基本的に市の関連施設には置いてあるが、他の指定管理者が管理している施設は競合する部分もあるため難しいと思われる。その他の施設等については確認しておく。(市)

3 その他

3- (1) 平成 30 年度運営懇話会開催日時について

市民生活課から資料 6 に沿って説明した。

(市民生活課)

- ・特に都合の悪い方がいなければ、記載の日程(案)どおり開催したい。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・日程(案)どおりで問題ない。

3- (2) 平成 30 年度市民協働推進補助金・モデル事業について

市民生活課より資料 7 について説明があった。

(市民生活課)

- ・平成 30 年度は市民協働推進補助金として記載の 7 団体に交付される予定であり、市民協働モデル事業として記載の団体の事業が採択されたことを報告した。

3- (3) 久里浜・追浜市民活動サポートセンターのコピー機の運用の変更について

市民生活課より報告があった。

(市民生活課)

- ・これまで当該施設内にあるコピー機の利用については、コピー機の利用のみであっても利用票の記入を求めていたが、市民サービス向上の観点からコピー機のみについては利用票の記入を求めないこととし、5月14日から運用を見直した。

(指定管理者)

- ・これまで運用で対応していたが、市からの連絡を受け、今後はコピー機についてのみ市の運用と合わせていく。

(懇話会構成員からの意見)

- ・のたろんフェアの写真撮影については、関係者以外の一般の方が安全面やプライバシーに配慮しない撮影をされているケースが見受けられるので、ルール作りが必要ではないか。
- ・市民活動サポートセンターの利用について、多少音を出してもいいスペース（劇や音楽演奏のための）を作ることはできないか。

連絡事項

(市民生活課)

- ・平成 29 年度補助金交付事業の活動報告会が 6 月 18 日（月）に行われるので、興味があればぜひ参加いただきたい。
- ・第 2 回運営懇話会は平成 30 年 8 月 16 日（木）18：30～サポートセンターにて開催予定。

以上